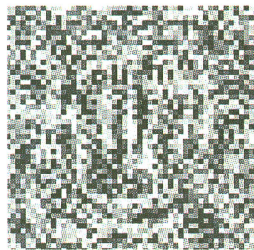
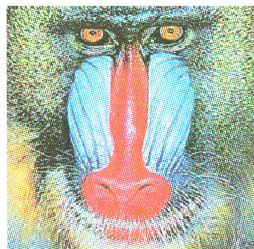


## 携帯・PCの画像認証

# モザイクで确实

## リムコーポ 脳の認識力利用

【浜松】文字フォントの作成を手掛けるリムコーポレーション(静岡県浜松市、竹塚直久社長)と静岡大学情報学部の西垣正勝助教授は、携帯電



オリジナル画像(写真上)と新しい認証システムでモザイク画にしたもの。モザイク画は本人だけが分かる

話などの情報漏れを防ぐ新しい認証方式を開発した。複数の画像から正しいものを選ぶ画像認証方式を応用し、モザイク加工で画像を不鮮明にして利用する。本人以外には正しい画像が分からなくなり、安全性を高められるという。

「脳内認証」では通常の画像認証と同じように、まず暗証番号の役目をすする画像を選ぶ。これを画像処理して、白黒のモザイク画像に加工してから利用する。他人にはただのモザイクしか見えないうが、利用者本人は元の画像から連想して正しいものを選ぶ。だが、脳内認証は、のぞき見されたとすぐ正しい画像が分かってしまう。だが、脳内認証ならばのぞき見してもすべて同じようなモザイク画にしか見えないので、正しい画像を記憶できない。実験では他人がのぞき見して四種類の画像から正しいものを選ぶ成功率は、一割程度。一方、利用者本人はモザイク加工してもほぼ一〇〇%の確率で、正しい画像を選り抜けた。

生体認証のような特殊な機材も不要で、暗証番号が高いのが特徴。携帯電話やパソコンなどの情報利用化を目指す。

ものを選べる。

一度見た画像から鮮明な画像の意味を連想できる脳の認識能力を利用した。従来の画像認証では、のぞき見されたとすぐ正しい画像が分かってしまう。だが、脳内認証ならばのぞき見してもすべて同じようなモザイク画にしか見えないので、正しい画像を記憶できない。

実験では他人がのぞき見して四種類の画像から正しいものを選ぶ成功率は、一割程度。一方、利用者本人はモザイク加工してもほぼ一〇〇%の確率で、正しい画像を選り抜けた。